



8月

# にじいろだより

令和4年8月1日(月)  
尚徳福祉会 井荻保育園

園庭にジャグが置かれ、子どもたちは飲みたい時に、自分のコップにお茶を入れて飲むようになりました。手加減するのが難しく、こぼしてしまうこともあります。「自分で」やることに誇りを感じているようです。戸外では引き続き虫探しに夢中ですが、「〇〇君の好きなミミズだよ。会いたかったでしょ?」と言いながら、ミミズを差し出す微笑ましい姿も見られます。また最近では「ジャンケンで決めようよ」と言いながら、子ども同士で「最初はグー」とやるようになりました。ジャンケンの仕組みを完全に理解できていないため、みんなパーばかり出すこともあります。ルールを守りながら遊ぶ楽しさに目覚めてきているようです。今月は心と身体を思い切り解放しながら、さまざまな遊びに挑戦していきたいと思います。

## 今月のわらい

- 夏の生活の仕方が分かり、身の回りのことを自分でしようとする。
- 友だちや保育者と一緒に解放感を味わいながら、夏ならではの遊びを十分に楽しむ。
- 身近な夏の自然に、興味や関心を持って関わり、自分たちの遊びに取り入れようとする。

今月のうた 「うみ」「かみなりどんがやってくる」(手遊びうた)

## お知らせとお願い

- フィンガーペインティング、色水・氷・寒天を使った活動や洗濯ごっこなども予定しています。汚れてもよい服装で登園して下さい。
- 洋服や靴下の記名が薄くなってきているものが増えています。今一度ご確認ください、記名をしっかりとお願いします。

## 思考する3歳~4歳児 「どうしてかなぁ?」

たいよう組さんが育てているヒマワリの生長を楽しみにしていた子どもたち。「あっ、ヒマワリが咲いたよ」「きょうはいっぱい咲いたね」と毎日観察していました。ところがある日、茎が折れてしまったのです。「大変だよ、ヒマワリが倒れている」「風がピューって吹いたからかな?」「お水が足りなかったんじゃない?」など、一人一人が真剣に考え始めました。すると水鉄砲でヒマワリに水をピューピューかけていた子たちが、「水がかかり過ぎちゃったのかも」と反省し、「明日ヒマワリさんにあやまろうよ」という結論が出たのです。自分たちなりに思考する姿に感動しました。

トウモロコシの皮むきをした時です。トウモロコシの皮やヒゲがテーブルに散らかってしまいました。「お掃除しようよ」と子どもたちはティッシュや台ふきんを持ってきて、いつの間にかお掃除を始めました。主体的に行動する子どもたちに頼もしさを感じました。



絵の具を使った活動が終わったあとも、「もっとやりたい!」「絵の具楽しい!」と意欲的にじ組さん。そこで大きな再生紙をテーブルに敷いてみました。思う存分に色の混じり具合や絵の具の感触を味わい、紙が破れてしまうほど力を入れて描画を楽しみました。

外遊びの前に、テーブルの上に汚れもの袋を置き、椅子をクルッと回転させてお着換えセットを用意します。担任が声かけせずとも自分たちで準備する姿が見られるようになりました。

